

## 保護者説明会での主な意見

### = 適正規模に関連すること =

- 1学年1学級で6年間同じクラスというのは決して良いこととは思わない。良い面もあるが、人間形成をしていく上では、2クラス以上あってクラス替えにより刺激し合って成長していくことが重要なことだと思う。
- 小規模校でも構わないと思う。何の問題がないのだから今のままを希望する。
- 1クラスではどうかとも思ったが、少ないからこそ先生も親も分かり合え、話し合いもできる。できるかぎり、このままにして欲しい。
- 小規模校には小規模校の良さがあるし、自分の学校の現状の中でどうするか考えるのも勉強だと思う。
- 各学校が特色を持った教育を行っており、統合などにより今までの教育を否定するのではなく、小さくても色々な学校があって交流し合うのが良いのではないか。
- 小規模校の課題をクリアするにはどうすればよいのかも検討して欲しい。
- 適正規模にすることによるデメリットについても検討してもらいたい。
- 1学級に15、6人であっても地域の子供たちが歩いて通えるほうがよい。中学校を後で考えるというのであれば、小学校の間はそれで良いのではないか。
- 中学校も教員の数少なく大変と聞いている。中学校の学級数を増やせば教職員も増え、親とのコミュニケーションもとやすくなるのではないか。
- 12学級が適正規模というが、6学級のメリットがたくさんあると思う。
- 平成23年度までの推計では短く、より長期的な見地で考える必要があるのではないか。
- 規模が小さくても小学校は地域ごとに残しておかないと、通学環境が悪くなることで子育てもしにくくなり、子供が減るといった悪循環を招くのではないか。

## 保護者説明会での主な意見

- 子供の人数が必要であれば、子供を増やすような政策を打ち出すべきである。

### = 適正配置に関連すること =

- 統合となった場合、校区が拡大することにより、子供の行動範囲が広くなり通学が不安である。特に遊歩道は、夜は人が通らないし街灯も暗く、決して安全とはいえず心配である。
- 統合の場合、同じ学校の子は一緒のところに行かせて欲しい。
- 親としてはできるだけ近いところに通わせたい。適正配置検討の際は適正な通学時間と適正距離に配慮して欲しい。
- 1学年1学級が良いとは思わないが、4校統合とかでいきなり24学級、1学年4学級になるのは親も子供も不安がある。
- 特認校、学校の選択性などの形で1校を残し、3校を統合するとか、学級数が少ないからこうするというのではなく色々な方法を考えてもらいたい。
- 子供が減り合併したとして、更に子供が減り再度合併となったら、一人の子が2度合併を経験することになるが、そういうことは避けて欲しい。
- 統合となれば、学童クラブについても検討して欲しい。

(注) 会議録から要約したものであり、発言すべてを記述したものではありません。